

令和4年度 こども発達支援センターぴーち 放課後等デイサービス 事業所内評価結果

		実施時期 令和4年12月			
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 / 体制 整備	① 支援や訓練などに使用するスペースは、利用定員に対して適切であるか	100%	0%	0%	施設としての設備基準は大幅に満たしているため、宿題をする時間・身体を動かす活動時間など、用途と人数に合わせて、臨機応変に対応できるように心掛けていく。
	② 職員の配置数は適切であるか	90.9%	9.1%	0%	平日は基本的にゆとりがある配置だが、長期休みの期間は児童発達支援と放課後等デイサービスが同時に進んでいくので、部分的に手薄に感じることも確かにある。また、病気などで何名か休みが重なると実際に厳しい時もある。職員の休みのとり方など、上手く調整して支援にあたるように検討していく。
	③ 施設の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切であるか	100%	0%	0%	現状の利用メンバーでは、特に問題なく過ごせている。今後も環境整備を心掛け、生活動作や機能訓練など、適宜行えるようにしていく。
業務 改善	④ 業務改善を図り、多くの職員がモニタリング・支援検討会議などに参画しているか	100%	0%	0%	モニタリング・支援検討会議に限らず、毎朝のミーティングでタイムリーに支援を見直すようにしている。また、申し送りノートを活用し、その日不在だった職員とも共通認識できるようにしている。
	⑤ アンケート等を実施し、保護者の意向などを把握したうえで、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	毎年のアンケートに加え、保護者勉強会や説明会、日々のやりとりの中でもご意見をいただき、上履きの収納の仕方等とり入れられそうなものなどは、その都度改善している。
	⑥ この自己評価の結果を、施設の会報やホームページ等で公開していく予定であるか	100%	0%	0%	3月に法人のホームページ上で公開予定。また、施設としての対応の変化等があれば、その都度公式ラインなども活用し、お知らせしていく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	90.9%	9.1%	0%	民生委員の方や関係機関の方の見学・実習を受け入れ、ご意見・ご要望・評価等をいただいている。今後も施設として求められていることに耳を傾け、行政とも連携して事業をすすめていけるようにする。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	外部の研修に参加した職員には伝達研修を行ってもらったり、毎月の会議の中でスキルアップにつながる施設内勉強会も取り入れている。今後も学んだり振り返ったりする機会を大切にしていきたい。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画に利用しているか	100%	100%	0%	利用開始時や利用目的変更時など、その都度保護者と発達課題や現状を確認し合い、計画に活かすように意識している。集団療育と個別療育のバランスなども、その時の発達段階に合わせて、変更するようにしている。
	⑩ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	82%	18%	0%	今は職員目録からの行事立案が多いので、子どもたちとも相談しながら行事等を楽しめるように検討していく。また、楽しかったもの・思い出に残るようなものは、次年度にもいかし、療育だけではなく、楽しめる生活の場としての昨日も充実させられるようにしていく。
	⑪ 活動プログラムは、楽しめるように工夫されているか	100%	0%	0%	「静」と「動」や「個」と「集団」のバランスにも配慮しながら、いろんな体験ができるように活動を組んでいる。今後も、利用メンバーの人数や発達課題に合わせて、発達の後押しが出来るようにプログラムを考えていく。
	⑫ 平日、長期休暇など、利用時間に合わせた支援内容・課題が組み込まれているか	90.9%	9.1%	0%	長期休みには、行事を意識して盛り込み、張り合いがもてるようにしている。また、午前と午後と活動内容を変え、飽きが来ないように工夫している。
	⑬ 支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日の内容や役割分担を把握できているか	82%	18%	0%	朝のミーティングでは、全職員で当日の利用メンバーや支援の方向性等を確認できている。放デイのみのミーティングは、ランダムな時間帯で行っているため、今後は時間帯を取り決め、意識をもって行っていく。内容や役割確認などは、その都度確認できているので、今後も継続して行っていく。
	⑭ 支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日の振り返りや共通理解をおこなっているか	82%	18%	0%	職員の勤務体制が様々なので、支援終了後には必要最低限の振り返りを行い、次の日の朝、改めて全員で確認できるようにしている。また、当日不在だった職員も申し送りノートを見れば、最低限把握できるようにしている。
	⑮ 日々の支援に関して、適切な記録を心がけ、今後の支援内容・改善につなげているか	100%	0%	0%	記録は毎日とることが出来ているが、その記録を振り返って、次の支援に活かす体制がとれていないので、意味のある記録となるよう心掛けていく。
	⑯ 地域の方や施設外の子供たちとも交流する機会が用意されているか	100%	0%	0%	今年度は大学とのコラボで音楽療法のセッションをうけに出かけたり、リンゴ狩りなども行ったりし、地域の人と関わる機会がもてた。コロナの情勢を見て、お祭りや地域の方も参加できるようなお祭りなど、今後は検討していきたい。
	⑰ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに役立っているか	100%	0%	0%	計画見直し時期に限らず、学年や発達課題、悩みが変化した時には、その都度話し合い、支援や利用の仕方の見直しをかけている。
	⑱ ガイドラインの総則を理解し、活動にいかせているか	100%	0%	0%	ガイドラインを念頭におき、法人として、施設としての方向性を毎年確認している。また、どこが施設として足りないところなのかを認識し、少しずつでも向上できるように支援内容や外部への働きかけなど工夫している。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲ サービス担当者会議に参画し、相談支援員とともに現状の把握と理解に努めているか	90.9%	9.1%	0%	担当者会議がある時には、必ず参加するようにしている。コロナのこともあり、対面会議が難しい現状はあるが、電話連絡などをこまめに行い、状況や発達課題の確認などは行っている。
	⑳ 学校との情報共有や連絡調整などは、随時行っているか	90.9%	9.1%	0%	教育委員会の会議や日々の学校送迎などを中心に情報共有はある程度行っている。今年度は、学校に直接見学に入らせてもらったり、先生から相談を受ける機会などもあり、タイムリーに関係性を気付けている。
	㉑ 就学前に利用していた施設と情報を共有し、相互理解を深められているか	82%	18%	0%	基本的には見学から継続して利用している子が殆どなので、情報共有は十分行っている。状況に応じて、他事業所の併用をはじめめる子もいるので、事業所間でも情報共有を図り、適切な支援を意識していく。
	㉒ 障害福祉サービス事業所などへ移行していくときには、支援内容や情報共有を心掛けているか	100%	0%	0%	学校や就労施設、相談支援事業所なども連携して、子どもの特性や配慮事項、家庭環境の確認などを行い、途切れない支援を心掛けている。
	㉓ 専門機関と連携をし、助言や研修を受けているか	90.9%	9.1%	0%	研修を受けた際には、必ず施設内で伝達研修を行ない、知識や情報の共有を図っている。また、並行して医療と福祉の個別療育を受ける子に対しては、医療で構音療育、びーちでは語彙の拡充など、分野を決めて行っている。
	㉔ 地域の自立支援協議会等へ積極的に参加できているか	90.9%	9.1%	0%	自立支援協議会だけではなく、市役所や保健センターの方とこまめな連携を図り、さくら市の今後の方向性を検討することが出来ている。
	㉕ 日頃から、保護者と子供の発達や課題について、話しあっているか	90.9%	9.1%	0%	送迎時や日々の連絡ノート、ラインなどを利用して、ご家族の方と話せる時間を大切にしている。日々の振り返りは比較的行っているが、発達課題に対しては、人によってはもう少し深く相談できると良い状況もあるので、今後は意識して時間を設けられるようにしていく。
㉖ 保護者に対して、ペアレントトレーニングができているか	82%	18%	0%	今年度もペアレントプログラムやペアレントトレーニング、各種勉強会を行った。ただ、該当者にしかアナウンスできなかったため、来年度は年間予定表などで全体にアナウンスできるようにしていく。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗ 運営規定や支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時や利用料金などの変更時には説明をしているが、システムが複雑なので、わかりにくいかもしれない。今後は、状況にあわせて再度説明する時間を設けるなど、丁寧な説明を意識していく。
	㉘ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	悩みの内容によって、対応する職員を変えるなど、適切な支援を行えるように意識している。日々の悩みや発達に関する悩み、就学・就労についての相談など、場面や内容に応じて、適切な職員がお家の方と話せる時間を
	㉙ 保護者同士の連携を意図的に用意できているか	100%	0%	0%	今年度はグループチャットなどの試みをしたが、個人情報への配慮が十分にできなそうと断念した。今後も新しい取り組みにいろいろと挑戦し、保護者同士でやり取りできるように検討していく。
	㉚ 子どもや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応できているか	100%	0%	0%	普段のやり取りの中で、要望など言いやすい雰囲気大切にしている。アンケートに限らず、意見をいただいた際には、レスポンスを意識し、できそうなことにはすぐに取り組みなど、今後も意識してニーズを受け止めていく。
	㉛ 施設での行事予定・連絡や確認など、必要に応じて発信できているか	100%	0%	0%	びーち便りやラインなどを通して、なるべく発信できるように心がけている。個人の様子などは、写真や動画などで、タイムリーに様子を伝えられるように取り組み始めた。
	㉜ 個人情報に十分配慮できているか	100%	0%	0%	基本的には契約時や年度切り替え時にプライバシー承諾書にて保護者に確認を取っている。実習生や見学者なども多い施設なのでその都度情報の取り扱いなど、注意喚起を促していく。
	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	契約時やコロナ蔓延時など、必要に応じて対応の周知を図っている。毎年発信しているわけではないので、適宜再周知をするなど、わかりやすい対応を意識していく。
非 常 時 等 の 対 応	㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか	100%	0%	0%	月に一度は火事や地震に備えて、避難訓練を行っている。分室からの避難はまだ行ってないので、今後取り入れていく。また、びーちは福祉避難場所になっているので、備蓄品の賞味期限なども随時確かめながら、安全に過ごせる場として環境を整えていく。
	㉟ 虐待を防止するため、職員に研修の機会を取り入れるなど、適切な対応ができているか	100%	0%	0%	虐待防止に限らず、障害特性や対応の仕方、人間関係の構築の仕方など幅広く施設内勉強会を行っている。安定した心身の状態で子供たちや保護者と向き合えることができるように、今後も意識して知識や技術の研鑽に努めていく。
	㊱ 食物アレルギーのある子どもについて、保護者に確認して適切な対応をしているか	100%	0%	0%	アレルギー対応が必要なお子さんに対しては、必ずアレルギー対応指示書の提出をお願いしている。体調や摂取量によって症状が出やすい子もいるので、その日の状態をおうちの人も確認を取り食べ方や量の調整を図っている。
	㊲ ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で共有しているか	100%	0%	0%	子供への対応についてのヒヤリハットだけではなく、保護者や関係機関との間でおきた不具合なども朝のミーティングや申し送りノートでも共有を図って、同じことを繰り返さないように気を付けていく。

上記のように、施設内でも事業所評価を行いました。今後に活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。